

## 国立研究開発法人海洋研究開発機構の評価に関する評価軸及び関連指標(案)

項目	評価軸	関連指標
Ⅲ-1 海洋科学技術に関する基盤的研究開発の推進	(1) 地球環境の状況把握と変動予測のための研究開発	<p>○海洋基本計画等に位置付けられた政策上の課題へ対応するための研究開発を、中長期目標・中長期計画等に基づき戦略的に推進し、国際水準に照らしても科学的意義の大きい成果が得られているか。</p> <p>○得られた成果を国際社会、国等へ提供し、政策立案等へ貢献しているか。</p> <p>○研究開発成果を最大化するための研究開発マネジメントは適切に図られているか。</p>
	(2) 海洋資源の持続的有効利用に資する研究開発	<p>○海洋基本計画等に位置付けられた政策上の課題へ対応するための研究開発を、中長期目標・中長期計画等に基づき戦略的に推進し、科学的意義の大きい成果が得られているか。</p> <p>○得られた成果を産業界等へ提供し、産業利用の促進が図られているか。</p> <p>○研究開発成果を最大化するための研究開発マネジメントは適切に図られているか。</p>
	(3) 海域で発生する地震及び火山活動に関する研究開発	<p>○海洋基本計画等に位置付けられた政策上の課題へ対応するための研究開発を、中長期目標・中長期計画等に基づき戦略的に推進し、科学的意義の大きい成果が得られているか。</p> <p>○得られた成果を国や関係機関に提供し、地震発生帯の長期評価等へ貢献しているか。</p>

項目	評価軸	関連指標
	<p>○研究開発成果を最大化するための研究開発マネジメントは適切に図られているか。</p>	<p>(モニタリング指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学術論文誌等への論文等掲載数</li> <li>・論文の質に関する指標(論文被引用数)</li> <li>・共同研究件数</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>
<p>(4) 数理科学的手法による海洋地球情報の高度化及び最適化に係る研究開発</p>	<p>○海洋基本計画等に位置付けられた政策上の課題へ対応するための研究開発を、中長期目標・中長期計画等に基づき戦略的に推進し、科学的意義の大きい成果が得られているか。</p> <p>○中長期目標・中長期計画等に基づき、情報基盤の整備・運用が効率的になされ、国内外の関係機関との連携が進展しているか。</p> <p>○得られた成果を社会へ発信し、課題解決へ向けた取組への貢献等が図られているか。</p> <p>○研究開発成果を最大化するための研究開発マネジメントは適切に図られているか。</p>	<p>(評価指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期目標・中長期計画等で設定した研究開発の進捗状況</li> <li>・具体的な研究開発成果</li> <li>・情報基盤の効率的な運用による関係機関との情報連携の状況</li> <li>・成果の社会還元の様相</li> <li>・研究開発の進捗に係るマネジメントの取組状況</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p> <p>(モニタリング指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学術論文誌等への論文等掲載数</li> <li>・論文の質に関する指標(論文被引用数)</li> <li>・情報基盤利用課題数、登録成果数</li> <li>・共同研究件数</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>
<p>(5) 挑戦的・独創的な研究開発と先端的基盤技術の開発</p>	<p>○将来も見据えた挑戦的・独創的な研究開発を、中長期目標・中長期計画等に基づき戦略的に推進し、国際水準に照らしても科学的意義の大きい成果が得られているか。</p> <p>○海洋調査・観測技術の高度化や海洋調査・観測用のプラットフォームの効率的運用により、機構の研究開発成果の最大化が図られたか。</p> <p>○研究開発成果を最大化するための研究開発マネジメントは適切に図られているか。</p>	<p>(評価指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期目標・中長期計画等で設定した研究開発の進捗状況</li> <li>・具体的な研究開発成果(独創性、革新性、先導性、発展性等)</li> <li>・海洋調査・観測用のプラットフォームの運用状況や、多様な海洋環境に対応する探査・調査能力の獲得状況</li> <li>・研究開発の進捗に係るマネジメントの取組状況</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p> <p>(モニタリング指標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学術論文誌等への論文等掲載数</li> <li>・論文の質に関する指標(論文被引用数)</li> <li>・共同研究件数</li> <li>・特許出願件数</li> <li>・船舶運航日数(所内利用及び公募課題)</li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p>

項目	評価軸	関連指標
III-2 海洋科学技術における中核的機関の形成	(1) 関係機関との連携強化による研究開発成果の社会還元等の推進等	○海洋科学技術における中核的機関として、国内外の関係機関との連携強化等を進め、成果の社会還元の推進が図られたか。  (評価指標) ・国内の産学官の研究機関との連携や知的財産等の利活用に向けた取組状況及びその成果 ・海外の研究機関等との連携や国際的枠組みへの参画に向けた取組状況及びその成果 ・外部資金の獲得に向けた取組状況及びその成果 ・海洋科学技術分野における若手人材の育成や人材の裾野の拡大に向けた取組状況及びその成果 ・広報、アウトリーチ活動の取組状況及びその成果 等  (モニタリング指標) ・学術誌への論文等掲載数、特許出願件数、知的財産の保有件数、実施許諾件数 ・外部資金獲得額、件数 ・国際共同研究契約件数 ・国内外の研究機関から受け入れた若手研究者数、研究生・インターンシップ生の受入人数 ・広報媒体における企画数及びアクセス等反響状況 等
	(2) 大型研究開発基盤の供用及びデータ提供等の促進	○研究開発基盤の供用やデータ・サンプルの利用拡大を図ることにより、我が国の海洋科学技術の水準向上及び学術研究の発展に貢献したか。  (評価指標) ・研究開発基盤の供用状況や供用促進に向けた取組状況とその供用等を通じた成果 ・学術研究に係る船舶の運航・運用状況とこれを通じた成果 ・各種データ、サンプルの提供及びその利活用の状況 等  (モニタリング指標) ・受託航海における船舶運航日数(日) ・地球シミュレータにおける公募課題数(件) ・学術研究に係る船舶運航日数(日)、研究成果発表数 ・航海・潜航データ・サンプル探索システム公開データ数 等

注)「評価指標」とは、評価・評定の基準として取り扱う指標。また、「モニタリング指標」とは、正確な事実を把握し適正・厳正な評価に資するために必要な指標。